

前立腺の病気について

土屋クリニック

土屋 清隆 先生

前立腺は、膀胱の下で尿道を取り囲むように存在する男性のみにある臓器で、通常はくるみ大の大きさで、精液の精子以外の主成分となる前立腺液(精子が卵子と受精する力を与えてくれる液)を作っています。

前立腺がん、前立腺肥大などの病気の話はよく耳にするのですが、前立腺ってなに？と聞かれると答えられない人が多いのではないのでしょうか。

生殖に関連した臓器ですから、年を取るとともに静かに退化していけばよいものを、変な増殖でがんや肥大という病気になってしまうのです。

前立腺は前述のとおり、尿道を取り囲むように存在するため、その増殖によって尿が出にくい、尿が近いなどの症状を引き起こします。また、前立腺がんは早期では症状が出にくいため、PSA(前立腺特異抗原)という血液検査による検診が重要であり、前立腺肥大は、その大きさにかかわらず症状に対する治療を行います。

最近では、前立腺がん患者の増加が顕著なことから、早期発見の啓発活動が盛んに行われています。出回っている情報量も非常に多くなっており、混乱している人もたくさんいるのではないのでしょうか。そんな時こそ、われわれ泌尿器科医の出番です。50歳異常の男性なら、前立腺の問題が起こる危険があるため、お気軽に泌尿器科医へ相談に来てください。